

関係機関・団体・課・室長 様

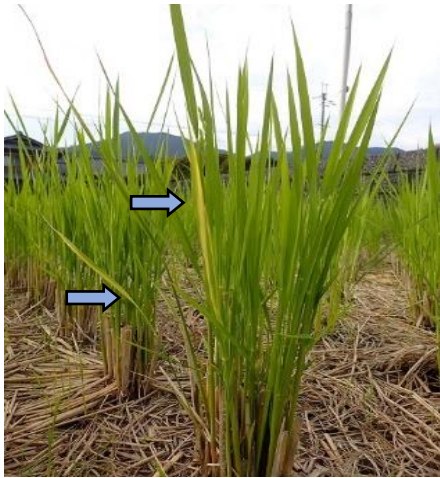
兵庫県農政環境部長

令和 2 年度 兵庫県農業気象技術情報第 7 号 (11~12 月情報) について (送付)

このことについて、下記のとおり情報を作成しましたのでお送りします。

記

1 気象経過・予報から想定される栽培上の留意点と対応策

作物	地域	栽培上の留意点	対 応 策
水稲	全 県 共 通	<p>1 ほ場管理、病虫害 <収穫後のほ場について> (1) 表面排水に努め乾田化を図り、できるだけ早く稲わら及びたい肥をすき込む。その際は、ほ場条件や水稲の生育状況等を考慮し、ケイ酸質肥料等の土づくり資材を施用する。</p> <p>(2) 近年、地域によってはイネ坪枯れ、イネ縞葉枯病の発生が多発傾向にある。発生状況は「ひこばえ」で容易に観察できる。発生が多い地域では、冬期の耕うんや畦畔雑草の管理を徹底し、トビイロウンカ及びヒメトビウンカの越冬密度低減に努める。</p> <p>(3) 紋枯病やばか苗病の多かったほ場では、耕うん回数を多くして病原菌密度を下げる。</p>	 <p>写真「ひこばえ」のイネ縞葉枯病の症状 ※縞葉枯防除マニュアル参照 (http://hyogo-nourinsuisangc.jp/chuo/bojo/shimahagare%20Version%201.03.pdf)</p>
麦	全 県 共 通	<p>1 栽培管理 土壌診断に基づいて、pH6.0~7.0を目標に苦土石灰等の石灰質肥料を施用して土壌酸度を矯正する。 麦は出芽時のほ場管理が増収の決め手となるため、排水対策を徹底すること。早めに周辺溝や排水溝を設置し、必ず排水口に連結する。さらに、弾丸暗きよ等を設置し、排水対策を徹底する。 適期播種に努める。播種時期が遅れた場合は、播種量を増やす(11月下旬に播種する場合は、11月上旬に播種する場合の2割増とする)。 年内の生育が旺盛な場合は、5葉期以降に速やかに麦踏みを行う。ただし、麦踏みはほ場が乾いた状態で実施し、その後、排水溝の手直しを行う。</p>	
		<p>2 病虫害 (1) 種子消毒を実施する。</p>	<p>2 病虫害 (1) 「病虫害・雑草防除指導指針(兵庫県農業情報システム)」に基づき、適正に種子消毒を実施する。</p>

作物	地域	栽培上の留意点	対応策
普通大豆	全県共通	<p>1 生育 成熟期は平年並～やや遅れる見込み。 収穫時期は、莢を振って音がする頃を目安とする。 コンバイン収穫の際は、汚粒防止のため、青立ち株及び雑草を除去し、茎の水分に留意して刈取り時期を決め、適期収穫に努める。 しわ粒を発生させないように急速な乾燥は避ける。</p> <p><コンバイン収穫の刈り取り適期の目安> 茎水分50%以下になった時で、茎がやや黒みを帯びて、手でポキッと二つに折れる状態であること。</p>	
黒大豆	全県共通	<p>1 生育 成熟期は平年よりやや早くなる見込み。 計画的に各作業（葉とり、刈り取り、脱粒等）を行う。 裂皮、しわ粒を発生させないように急速な乾燥は避ける。</p>	
キャベツ	全県共通	<p>1 生育 気温は、9月がやや高く、10月が平年並みで推移した。台風や集中豪雨等の大きな気象災害はなく、定期的な降雨により、生育は概ね順調に進んでいる。</p>	<p>1 生育 3か月予報では、11月の気温は平年並みか高く、降水量は少ない、12月の気温は平年並みか低く、降水量は平年並みの見込みである。収穫時期が前進する可能性があるため、適期の収穫を心がける。</p>
果樹	全県共通	<p>1 生育 凍寒害の発生防止に努める。</p> <p>2 病虫害 越冬病虫害の密度を下げる。</p>	<p>1 生育 凍寒害や雪害の危険性のある園地では被害防止対策を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イチジク：わら、アルミ蒸着フィルム等の被覆（主枝上面にわらの束を載せるだけでも凍害防止効果あり） ・クリ：幼木への株ゆるめ処理等 ・ナシ：早めの剪定（粗剪定）、果樹棚の点検、補強 ・カンキツ：不織布やコモの被覆 <p>2 病虫害 病虫害による被害果、剪定枝及び落葉の焼却や園外への持ち出し等を行う。必要に応じて薬剤散布を行う。 カンキツは収穫前に貯蔵病害対策を実施する。</p>

◎水稲・麦・大豆の栽培については「稲・麦・大豆作等指導指針」を、防除については「病虫害発生予察情報」及び「病虫害・雑草防除指導指針（兵庫県農薬情報システム）」を参考にすること。

※本情報は、10月29日時点のデータを元に作成しています。

2 気象予報

(1) 近畿地方の向こう1か月予報 (10月31日～11月30日)

[令和2年10月29日 大阪管区気象台発表]

<予想される向こう1か月の天候>
 向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。
 近畿日本海側では、期間の前半は、天気は数日の周期で変わるでしょう。期間の後半は、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。近畿太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。
 向こう1か月の平均気温は、平年並または高い確率ともに40%です。
 週別の気温は、1週目は、平年並の確率50%です。2週目は、高い確率50%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>

【気温】近畿地方	20	40	40
【降水量】近畿地方	30	40	30
【日照時間】近畿地方	30	40	30

凡例: ■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

<気温経過の各階級の確率(%)>

1週目 近畿地方	30	50	20
2週目 近畿地方	20	30	50
3～4週目 近畿地方	30	30	40

凡例: ■ 低い ■ 平年並 ■ 高い

(2) 近畿地方の向こう3か月予報 (11月～1月)

[令和2年10月23日 大阪管区気象台発表]

<予想される向こう3か月の天候>
 向こう3か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

11月 近畿日本海側では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。近畿太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。気温は、平年並または高い確率ともに40%です。
 12月 近畿日本海側では、平年に比べ曇りや雨または雪の日が多いでしょう。近畿太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。気温は、平年並または低い確率ともに40%です。降水量は、近畿日本海側で平年並または多い確率ともに40%です。
 1月 近畿日本海側では、平年と同様に曇りや雪または雨の日が多いでしょう。近畿太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

<向こう3か月の気温、降水量の各階級の確率(%)>

【気温】		【降水量】	
[近畿地方]		[近畿日本海側]	
3か月	40 30 30	3か月	30 30 40
11月	20 40 40	11月	40 30 30
12月	40 40 20	12月	20 40 40
1月	40 30 30	1月	30 30 40
		[近畿太平洋側]	
		3か月	30 40 30
		11月	40 30 30
		12月	30 40 30
		1月	30 40 30

凡例: ■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

※ 気温・降水量・日照時間は低い・平年並・高い（少ない・平年並・多い）の3階級で予報されます。階級の幅は、平年値の作成期間（1981～2010年）における各階級の出現率が33%となるように決めてあります。

ホームページアドレス

- ・「病害虫発生予察情報」
<http://hyogo-nourinsuisangc.jp/chuo/bojo/index.htm>
- ・「病害虫・雑草防除指導指針（兵庫県農薬情報システム）」
<http://www.nouyaku-sys.com/nouyaku/user/top/hyogo>
- ・「稲・麦・大豆作等指導指針」
http://web.pref.hyogo.lg.jp/nk12/af11_000000107.html

問い合わせ先

本情報に関すること

- ・兵庫県農政環境部農林水産局農産園芸課 TEL (078)341-7711(代表)
農産班:主作・機械担当 内線 4069
農産班:野菜担当 内線 4054
花き果樹班 内線 4066

技術内容に関すること

- ・県立農林水産技術総合センター
企画調整・経営支援部 TEL (0790)47-2435
農業技術センター 農産園芸部 TEL (0790)47-2410
農業技術センター 病害虫部 TEL (0790)47-1222
北部農業技術センター 農業・加工流通部 TEL (079)674-1230
淡路農業技術センター 農業部 TEL (0799)42-4880

兵庫県ホームページでも本情報を公開しています。

URL：http://web.pref.hyogo.lg.jp/af11/af11_000000097.html

(兵庫県トップページ>食・農林水産>農業>農作物>農業気象技術情報)